

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スカフォルズ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 17日 ~ 2025年 4月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日 ~ 2025年 3月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達学博士監修の元、専門的支援員各々が子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している	発達学博士監修の元、個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	引き続き、職員や事業の質向上に向けた研修を積極的に多く取り入れる
2	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている	引き続き、家族に対しての家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や保護者会の開催する
3	子どもが安心感を持って通所を楽しみにしており、事業所の支援への満足度が非常に高い	家族支援の際に子どもの状況を保護者と丁寧に伝え合い、子どもの発達の状況について共通理解に努めている	引き続き、定期的にSNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信する

	事業所の弱み（※）だと思われるること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	きょうだいで事業所に通ってくださっているケース以外、現状きょうだい同士で交流する機会を設ける支援は行っていない	新年度は保護者会の開催により保護者同士で交流する機会も設けている
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	支援上必要なケース以外、現状地域の中で他の子どもと活動する機会を設ける支援は行っていない	支援上必要なケースでは自社の保育所や療育施設で多角的に支援をしている
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	地域に開かれた事業運営は現状行っていない	地域に開かれた事業運営は現状行っていない